

平成22年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	大学名	内容	実施期間
1	COMME・MUSEUM(コム・ミュージアム)2011	松村茂チュートリアルLIRG	東北芸術工科大学	コム・ミュージアムは東北芸術工科大学の松村研究室チュートリアルLIRGが企画、運営する地域活性化イベントです。「七日町を美術館のような街にしよう」というコンセプトのもと、七日町をまるで芸術鑑賞するかのよう歩くことのできる空間と仕組みを市民の皆様と共有するイベントです。七日町を市民一人ひとりの自己表現の場として、積極的に作品発表をしてもらうことで、町に足を運んだ多くの人々がアートやデザインに触れることのできる空間を創るという目的があります。	平成22年10月9日～平成22年10月12日
2	バリアフリー映画「おくりびと」上映	チュートリアル名作映画バリアフリー上映会	東北芸術工科大学	この企画の最大の狙いは、障がい者・健常者が隔てなく、平等にエンタテインメントを楽しめる機会を提供する事である。バリアフリーフィルムは「障がい者のために」とう一方通行の発想で作られた物ではなく、日本語字幕と副音声活弁がついた、障害者と健常者が一緒にスクリーンに向き合って楽しむ映画のことである。このフィルムの上映を通して、普段は接点のない障がい者と健常者が交流を深め、新たな共有の場を創造する。	平成22年9月4日～平成22年9月12日
3	学生による地域づくりシンポジウムおよび学生交流会	山形工科短期大学校学生自治会	山形工科短期大学校	学生の主体性を発揮し、アイデアに富んだ取り組みをいっそう活発に展開するためには、学生どうしの意見交換と交流が大切であると考えた。そのために、加盟機関の学生自治会が集って意見交換するシンポジウムと学生交流会の開催を提案するものである。	平成22年10月30日
4	第2回 ゆうキャンパス祭 Winter Festa ～若い力で輝け新庄！～	東北文教大学コーラス部	東北文教大学	大学コンソーシアムやまがたに加盟する県内の各大学、短期大学による地域活性化イベントです。目的として、「若い力で輝け！新庄！」というコンセプトのもとで新庄駅構内「最上広域交流センター“ゆめりあ”」を音楽や芸術などで彩り、新庄市だけでなく県内各地から人を集めるというものがあります。	平成22年12月26日

平成23年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	大学名	内容	実施期間
1	山形DASH村興しプロジェクト	DASHin山形サークル	山形大学	山形県真室川町小又地区を舞台に過疎化する地区活性化、学生が積極的に山村運営とはどういものなのか、各員、自分なりにしっかりした考えを持ち活動していくこと。 第一段階として地区の広報活動、地区の環境学習の場として利用できるように整備、地域交流の場として利用するために、各種イベントを企画をおこなった。	平成23年4月1日～平成24年3月31日
2	第1回 山形学生スポーツ祭典 ～繋がり～ ソフトボール大会	山形学生スポーツ祭典実行委員会	山形大学	山形の学生同士でスポーツを通じて交流を深め、繋がりを作っていくこと、楽しみながら各連携を結ぶことと組織作りの考え方を学んでいくこと 、大会が次年度にも続くように進めることを目的として活動をおこなった。今回は、ソフトボールを競技とし、各大学等から5団体の参加を頂き、馬見ヶ崎河川グラウンドにてソフトボール大会をおこなった。	平成23年8月16日
3	東北アート・デジタルフェスティバル	東北アート・デジタルフェスティバル 実行委員会	東北文教大学	本イベントは、山形に住む学生の「表現」の場と位置づけ、学生自らデジタルコンテンツなどを用いてアニメーション・アート作品やダンスなどで表現し、若者の活気を地域に魅せたイベントをおこなった。大学生だけではなく中高生と留学生に主眼を置き、日本の世界に誇るコンテンツと絡めたイベントをおこなった。	平成23年10月30日
4	COMME・MUSEUM(コム・ミュージアム)2012	松村茂チュートリアルLIRG	東北芸術工科大学	コム・ミュージアムは東北芸術工科大学の松村研究室チュートリアルLIRGが企画、運営する地域活性化イベントです。「七日町を美術館のような街にしよう」というコンセプトのもと、七日町をまるで芸術鑑賞するかのように歩くことのできる空間と仕組みを市民の皆様と共有するイベントです。七日町を市民一人ひとりの自己表現の場として、積極的に作品発表をしてもらうことで、町に足を運んだ多くの人々がアートやデザインに触れることのできる空間を創るという目的があります。	平成23年10月1日～平成23年10月15日
5	インターネットラジオ	TUADラジオクラブ	東北芸術工科大学	今回の企画で私達は、山形での生活を充実させ、大学を卒業していく時に、『山形の魅力』を山形県の事を全く知らない人に伝える事を出来るようになりたい。 メンバーは山形県内出身者も県外出身者もいる。 異なる土地で生活してきた県外出身者や地元出身者ならではの視点から山形の魅力を発見、再発見する。そして、私達大学生の生の声・言葉で、若い人たちに、山形県の情報を発信していく。	平成24年1月17日～平成24年3月31日
6	タキャンパス	ゆうキャンパス×TUAD	東北芸術工科大学	「放課後の教室」をテーマにゆうキャンパスの一角を装飾。 ●アナログツイッター 情報共有の場として、付箋紙を使用したツイッターを展開。 テーマを決めて意見や感想をのべたり、情報を発信したり様々なことに使用。 ●交換ノートの設置 相談ごとや、新しいプロジェクトのお誘いなど、自由に使用してもらう。 ノートごとにテーマを決めて、書きやすく読みやすく。 ●ブックコーナーの設置 コンソーシアム山形の加盟学校の図書館や、一般の方から様々なジャンルの本を寄贈してもらい、ゆうキャンパスに集め、ブックコーナーを設置する。 ブックコーナーに1冊持ち込むと、気に入った本1冊を持ちかえる事が出来る＝物々交換のシステム。 ●「Book×After Valentine」企画 はじめに、本を効率よく集めるためのイベントを開催する。イベントでは、参加の変わりに本を提供してもらう。提供してもらった本と引き換えにお菓子を提供。また、芸工大の他学科と協力し展示もおこない、本を提供してもらうだけでなく楽しみも提供していく。	平成24年2月1日～平成24年3月31日
7	映画「ちいさな哲学者たち」鑑賞会	映画「ちいさな哲学者たち」鑑賞会 実行委員会	東北文教大学	将来教員を志す学生や、現代の教育問題に関心を持つ一般の方々に向けて、まだ山形では未公開の映画「ちいさな哲学者たち」の鑑賞を通じて、我が国の教育において特定の答えが存在しない問いを扱うことについて考える場とする。 平成24年3月19日 18:00～20:10 参加者21名	平成24年2月12日～平成24年3月19日

平成24年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	代表名	内容	実施期間
1	きっかけプロジェクト	きっかけプロジェクト	東北芸術工科大学	有限会社香取感動マネジメント 代表取締役香取貴信氏を講師に迎え、自分のやりたいこと・なりたいものを見つけるための「きっかけ」を得るための講演会「ディズニーランドに学ぶ-夢見た自分になる魔法」を開催。 日時 5月19日(土)15:00-17:00 場所 ゆうキャンパス・ステーション 参加者 53名(社会人31名、学生22名)	平成24年2月24日～平成24年5月19日
2	手話落語演芸会 (バリアフリー寄席)	手話落語演芸会やまがた事務局	東北芸術工科大学	聴覚障がい者を中心とした耳が不自由な方と健常者が同じ空間で、エンターテインメントを楽しめる「手話落語演芸会」を開催。 日時 5月3日(木)14:00-15:30 場所 山形テルサ 参加者 約50名	平成24年2月16日～平成24年5月3日
3	「庄内情報発信ネット」 ～インターネットラジオとHPによる庄内情報発信～	ラジオサークルHBK鶴岡支部	山形大学	インターネットラジオとホームページを活用し、主に庄内地区の情報を発信する。地域活性化を目的とした活動取材し、参加を促す。大学の研究室等を取材し、庄内の大学について知ってもらう等。 主に山形大学と東北公益文科大学の学生が担当、産技短庄内校や鶴工専の学生からも参加者を募集する。	平成24年6月1日～平成24年11月30日
4	用の美～変わる器と広がる和～	東北芸術工科大学 芸術学部 美術科工芸コース	東北芸術工科大学	菓子職人によるお茶やお菓子、うつわの関係についての講話を開催。 また、菓子店より、創作菓子を制作いただき、学生はそのお菓子のイメージにあった工芸作品(器)を制作する。カフェを開催し、お茶とお菓子を創作器で提供する。 学内による展示 日時 11月22日(木) 場所 東北芸術工科大学 学外による展示 日時 12月1日(土)～2日(日) 場所 山形まなび館	平成24年11月22日～平成24年12月2日
5	輪音～ゆうキャンパス音楽祭～	「輪音」実行委員会	山形県立米沢女子短期大学	各校が離れていること、学校間での交流が無いこと等からなかなか繋がることのできない県内の学生同士の交流を図るため、誰もがわかる「音楽」をきっかけに交流をする音楽祭「輪音」～ゆうキャンパス音楽祭を開催する。 日時 2月16日(土)12:00-18:00 会場 ゆうキャンパス・ステーション 参加団体 「ゆなし」ほか 計11組	平成25年2月16日

平成25年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	大学名	内容	実施期間
1	スマイルエンジンプラス 蛤浜合宿	スマイルエンジンプラス	東北芸術工科大学	宮城県石巻市桃浦蛤浜にて営業している「cafeはまぐり堂」に隣接する斜面の土砂崩れを防ぐダム の設営や、子供たちの遊び場となる浜や広場の瓦礫・ガラス片撤去の活動。 期間: 8月24日(土)～8月25日(日) 参加者(予定): 40名	平成25年7月1日～ 平成25年9月30日
2	コム・ミュージアム	東北芸術工科大学チュートリアルLIRG	東北芸術工科大学	コム・ミュージアムは、「七日町を美術館のようにする」ことを目的とした、東北芸術工科大学生が運営するイベントです。芸工大生から見た七日町の素晴らしいところを、アートを使って県内に発信します。 日時: 10月13日(日) 場所: 七日町商店街ほか	平成25年9月1日～ 平成25年11月30日
3	長井のまちづくり～工科短大の挑戦～	山形工科短期大学校学生自治会	山形工科短期大学校	長井市の中心地であり、市民生活の核となる長井駅前通りの一角の空き地を会場とし、工科短大の特色を紹介するワークショップを開催し、市民や他大学の学生にも周知し、長井におけるまちづくりの活性化に寄与する。 期間: 10月26日(土)～27日(日)	平成25年9月1日～ 平成25年11月30日
4	学び場プラス～小中高生に向けた学校外での無料学習支援～	学び場プラス	山形大学	塾や予備校に行きたくてもいけない子どもたちに、学生が学習支援を行う。1.居心地の良い環境づくり。2.勉強する習慣を少しずつ身につけさせる。3.褒める。ことを意識し、学習課題や自学自習への学習を支援する。 期間: 1月18日(土)～3月5日(水)(予定) 場所: ゆうキャンパス・ステーション	平成25年12月17日～ 平成26年3月31日

平成26年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	代表名	内容	実施期間
1	Represent 温泉	Represent温泉実行委員会	東北芸術工科大学	山形市、山辺町、中山町それぞれの温泉施設で美術作品の展示会を行う。 期間：平成26年9月20日(土)～10月4日(土) 会場：山辺温泉保養センター、臥龍温泉保養センター、健康天然温泉八百坊、ひまわり温泉ゆ・ら・ら	平成26年6月1日～ 平成26年10月31日
2	「人の幸せ・元気につながるまちづくり」 大学事例プレゼンテーション交流会	まちづくり企画研究会	東北芸術工科大学	横浜国立大学の学生と東北芸術工科大学及び山形の各大学の学生とともに、各大学生が取り組んでいる「人の幸せ・元気につながるまちづくり」に関連するプロジェクトの企画・実践例を互いにプレゼンし、未来のヴィジョン、ネットワークづくりを目指す。 日時：平成26年9月2日(火) 14:00-17:00 会場：東北芸術工科大学	平成26年9月2日
3	SCITA発未来宛て ～育て！東北の科学のメ（眼・芽）～	山形大学SCITAセンター学生スタッフ	山形大学	①大学生や一般向けに科学に親しんでもらう機会を提供する。 ②小学生や中心とした学校・病院での出張実験教室を開催する。 ③全国科学ボランティア研究大会に参加する。 ④土曜の科学(学童保育への出前実験教室)を年4回行う。 ⑤SCITAセンターで飼育している生物をとおして命の尊さを感じてもらおう。 ⑥他県で行われる科学イベントにも積極的に参加し、科学に親しむ機会をつくる。	平成26年8月1日～ 平成27年3月31日
4	スマイルエンジンプラス	スマイルエンジンプラス	東北芸術工科大学	震災から3年経つが、現地での復興は完了していない。現在支援を必要とし、未来へと意識を向け始めた人の支えになれたらという想いのもと、復興支援活動に取り組む。 蛤浜再生プロジェクト、日曜奉仕団、県内学生との勉強会等	平成26年6月22日～ 平成27年3月31日
5	ほっと一息 ～ママティータイムin金山町～	Team道草ママティープロジェクト	山形大学	子育てに励むママ達が“ほっ”と一息つけるようなくつろぎの場づくりをする。教育学を学ぶ学生やこども好き、食に関心のある学生が参加し、ママ目線で企画・運営することで子育ての課題を知り、将来親となった時の姿勢について考えるきっかけとなる。  期間：平成26年5月～3月 七夕飾りづくり、カレンダーづくり、雪遊び、絵本の読み聞かせ等	平成26年5月3日～ 平成27年3月7日

平成27年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	代表名	内容	実施期間
1	学び場プラス～夏の集中特訓～	学び場プラス	山形大学 杉浦和貴子	経済的理由等により、塾に行きたくても行けない子どもの学習をサポートする。高校受験生と大学受験生を対象に、生徒に応じて苦手科目の克服、得意科目を伸ばす学習活動を夏休みの一週間という集中した期間に行う。	平成27年6月30日～ 平成27年9月30日
2	地域活性化の触媒～SCITA～ ～育て！東北の科学魂	山形大学SCITAセンター学生スタッフ	山形大学 須藤良太郎	・山形大学SCITAセンター内でのクラゲ等の飼育体験 ・モンテディオ山形のイベント、尾花沢ふれあいまつりでは、スチロール樹脂の特性を利用したキーホルダーを作る実験 ・日本一の芋煮フェスティバルでは、偏光板を用いた万華鏡を作る実験など	平成27年8月7日～ 平成28年3月31日
3	Art×技術で創造 ～人と場所が繋がるまちづくり～	長井まちづくりMKT	山形工科短期 大学校 大場 恵美菜	(1) 鍋カフェプロジェクト 長井1000人いも煮会の大鍋展示場の活用を定着させるため、そのコーディネートが学生がおこなう。 (2) ものづくり行灯プロジェクト: 2月6日に行われる「ながい雪灯り回廊まつり」とタイアップして行灯をつくり、日中から祭りの雰囲気づくり・宣伝塔としての役割を兼ね揃えた行灯を10基前後作成、設置することで観光客の減少する冬場の新たな見どころを、ものづくりの観点から提案し、祭りに彩を添える。 (3) 花を活かしたまちづくり: 長井のキャッチフレーズである「水と緑と花のまち」に関心をもち理解してもらうために、(2)と同じく「ながい雪灯り回廊まつり」で大町の路地を借りて「ドライフラワー」を使った冬にマッチさせた花の路地を提案し、地域活性化を図る。	平成27年11月1日～ 平成28年2月6日

平成28年度「高等教育山形宣言」プロジェクト 一覧

NO.	プロジェクト	団体名	代表名	目的	実施期間
1	「もがみ留学プロジェクト 2016 真室川町・最上町編」	最上地域学生団体「ともしび」	山形大学 平井裕士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県内の学生が最上地域、今回は特に真室川町、最上町の行事に参加し、地域住民との恋流を深めることで、大学生世代を中心に最上地域に親しみを持ってもらう。</li> <li>・最上地域の情報を発信することを通じて、潜在的な人口(地域に在住していなくてもその地域に関心を抱く人)を増やす。</li> <li>・最上地域において少数である大学生世代を、山形県内の学生が最上地域を訪れることにより補完し、地域におけるイベントなどの運営に参加することで地域活性化への一助になるよう働きかける。</li> </ul>	平成28年5月7日～ 平成29年3月13日
2	学び場プラス 夏・冬の集中特訓	学び場プラス	山形大学 多田智大	<p>学び場プラスでは、貧困家庭の子どもたちに学習支援を行っている。普段の活動では補えない部分を、夏・冬の集中特訓で補いたい。</p> <p>夏の集中特訓では、来年に受験を控えた中学3年生・高校3年生を対象に、用意した問題冊子を使って、受験を意識した勉強習慣と勉強の仕方(主に復習と問題の解き直しの仕方)を修得することを目的とする。冬の集中特訓では、高校受験を控える中学校3年生の生徒を対象に、山形県高校入試問題の過去問題を本番とお名材日程で解き、県内平均や学び場プラスな胃の平均をとり自分が今どのぐらいの学力を身に付けているのか把握する場を設けることを目的とする。これらの目的を達成することにより、山形に住む貧困家庭の子どもたちもいきいきと学習できるようにしたい。</p>	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
3	科学の世界を広めよう	山形大学SCITAセンター学生 スタッフ	山形大学 齋藤 周	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年子どもたちの理科離れが叫ばれており、身近に科学や生物について体感できる場を提供することで、山形県内の子どもたちの科学や生物への好奇心と探求心を育み、理科好きな子どもたちを育成する。</li> <li>・県内各地のイベントに参加し、科学体験を通し科学の楽しさや不思議さと老若男女問わず、より多くの方々に伝えることで、世代間のコミュニケーションの機会を提供し、地域の活性化を図る。</li> <li>・全国の科学教育ボランティア等と交流し、ネットワークの構築を図るとともに学生スタッフ自身のコミュニケーション能力及びイベントの企画・運営能力の向上を図ることで、より一層地域社会に貢献できる活動を目指す。</li> </ul>	平成28年7月19日～ 平成29年3月31日
4	まちづくりシンポジウムin長井	長井まちづくり研究会	山形工科短期 大学校 成田 葵	<p>長井市は最上川舟運の終着地として知られ、旧西置賜郡役所(現小桜館)など歴史的建物が数多く残る地域である。人口減少や高齢化など、地域を取り巻く環境は厳しく、商店街は休日でもシャッター街と化し、閑散としている。</p> <p>長井市の歴史的な町並みや伝統を活かし、さらに緑豊かなまちづくりを目指し、以下の通り学生が中心となってまちづくりのためのシンポジウムを3月の卒業制作展にあわせて開催する。</p>	平成29年3月5日～ 平成29年3月5日